

豊岡東地区環境保全協議会

市町村名 磐田市

地域			代表者名	乗松洋一	活動期間	平成20～24年度		
協定面積 (ha)	水田	40.10	対象面積 (ha)	水田	40.10	対象資源	数量	
	畑	36.70		畑	36.70	農用地	76.8ha	
	草地			草地		開水路	6.6km	
	計	76.80		計	76.80	パイプライン	6.0km	
主要作物	水稻・茶		参加団体	自治会(敷上・大平南・仲明・大当所・西之谷南・大平北・虫生・万瀬) 各区(岩室財産区・虫生財産区・万瀬財産区) 東小PTA 市消防団5分団 NPO法人しきじ土曜倶楽部 磐田市立豊岡東小学校 磐田用水東部土地改良区				
構成員	農業者	非農業者	計	ため池				
人数	6	20	26	農道				
				事業費(年)				2,792,000
主な活動内容	(基礎部分) ・遊休農地等の発生状況の把握 ・施設の点検 ・共同作業計画の策定 ・草刈り ・配水操作 他		(農地・水向上) ・施設の機能診断 ・診断結果の記録管理 ・年度活動計画の策定 ・きめ細やかな雑草対策 他		(農村環境向上) ・景観形成、生活環境保全計画の策定 ・広報活動 ・地域住民等との交流活動 ・景観形成のための施設への植栽等 ・施設等の定期的な巡回点検、清掃			
	磐田市の最北部に位置し、中山間を背にする自然豊かな農村地帯で、二級河川敷地川沿いの農用地では四季折々の農村風景が楽しめ、また年間を通じて農産物が豊富に生産されている。30aに区画整理された水田、農業用水のパイプライン化も進み、農業法人による大規模経営がなされている。昔から地域活動も公民館を中心に盛んに行われている地域である。							
目指すべき方向	農業従事者の数が年々減少している今日、農地周辺の草刈りなどの景観保全には、多くの労働力が必要です。これは、地権者或いは耕作者だけの責任としてそれを押し付けても、決して問題解決にはなりません。農村風景は地域全体の大切な財産として考えれば、自治会主導の「生活環境保全活動」として、住民みんなで取り組むものと考えます。私どもは、地域のエコミュージアム構想を策定し、それに沿った環境保全活動を展開しています。今年は二年目ですが、畦畔の草刈りを丁寧に行った結果、彼岸花が地域のあちこちで見事に満開となりました。このように予算の使い道は、主にソフト事業に充填していくつもりです。				施設の点検			
	初めは、とまどいもありましたが、草刈り効果による彼岸花の一斉開花は、見事にその成果を感じました。来年の九月上旬にはもっと広域に、地域一斉草刈り運動を展開する予定です。又、八月の農村文化の伝統芸能である大念仏おどりのイベントも、多くの観客を集め盛大に開催されました。来年も又実施する予定です。							
課題	自治会の労力奉仕活動には、何かしらの報酬を期待する慣例があり、その報酬は自治会の旅行や飲食に使ってしまう事が通例となっています。この悪習慣を改善し、報酬は地域の環境保全や活性化事業に使うよう変化させなければなりません。まだまだ地域住民の多くは、自分たちの手で地域を良くして行こうと云う観念が不足しています。この事業を長く続ける事により、その効果を期待して行きたいと思えます。				水路に付着した藻等の除去			
抱負・コメント	二年目のソフト事業は、地域の伝統文化の再構築と100万本の彼岸花運動を実施しましたので、地域が少し方向転換していくようです。農村の資源の再発見は、地域の活性化に繋がることを体験したいと考えています。							
				地域住民との交流活動(ワークショップ)				